

# 岡山県 獣害対策集落アンケート

(目的と分析事例)



合同会社AMAC 浅田正彦

## 説明内容



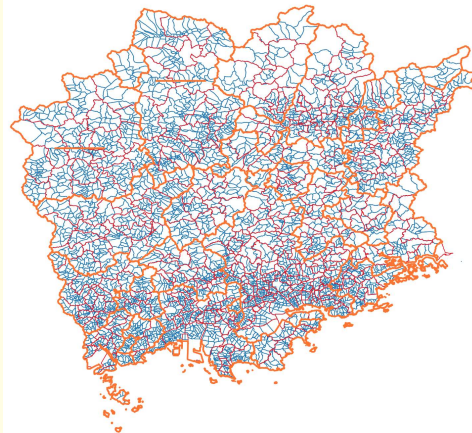
- 1 アンケート調査の目的
- 2 調査項目と分析事例

## 調査の単位＝農業集落



世界農林業  
センサス  
農業集落

岡山県  
4,929集落



## 集落単位のアンケート調査



- 【目的1】  
市町村単位よりも細かい地域特性が明らかになる  
→県・市町村での地域特性に応じた施策立案に使える(被害防止計画へ反映)

## 集落単位のアンケート調査



### 【目的2】

隣接集落・市町村の現状が把握可能

→早期の集落ぐるみ対策促進

→早期の対策事業化(予算要求資料)

## 【質問項目】生息情報



対象動物	動物の増減
ニホンジカ <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない (→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない
ニホンザル <input type="checkbox"/> 子を連れた群れがいる <input type="checkbox"/> 1～数頭の 離れザルがいる <input type="checkbox"/> いない (→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない
イノシシ <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない (→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない

### Q) 害獣の生息状況

いる

いない

増えた

変わらない

減った

わからない

## 生息情報 千葉県事例



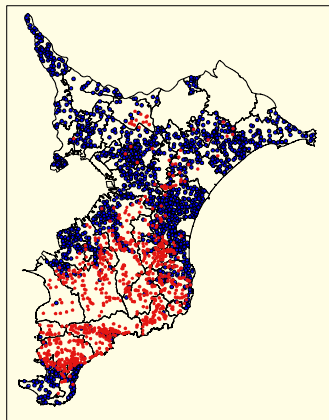
集落単位生息情報

=分布域推定

市町村単位よりも

細かい地域特性

が明らかになる



## 【質問項目】被害情報



### 平成21年の農業被害

- ほとんどない
- 軽微
- 大きい (生産量の30%未満)
- 深刻 (生産量の30%以上)

### 被害の動向

- 増えた
- 変わらない
- 減った

### Q) 被害状況

ほとんどない

軽微

大きい

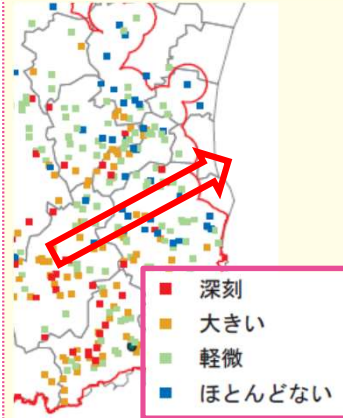
非常に大きい

### Q) 被害の動向

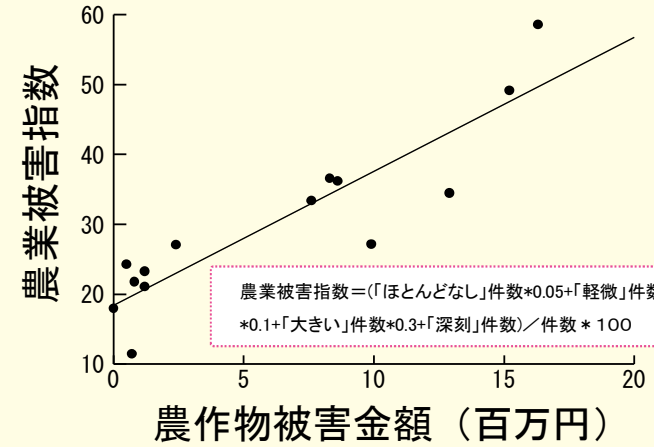
## 被害情報 千葉県事例



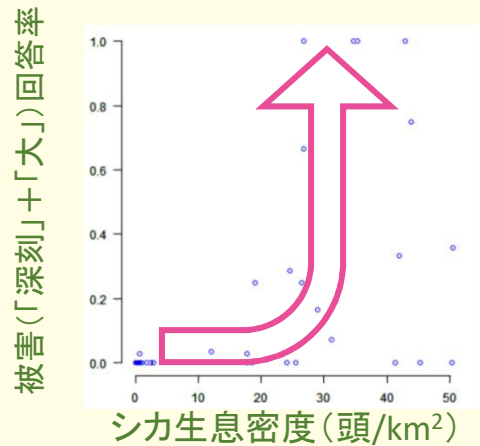
集落単位  
被害情報の変化  
⇒ 対策効果検証  
  
⇒ 対策優先地域の抽出



## 被害の程度と被害金額 (千葉県事例)



## 生息密度と被害の程度 (岡山県)



## 【質問項目】対策情報

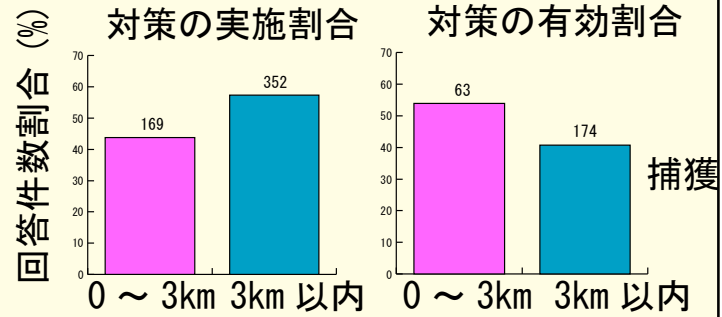


実施した被害対策と効果 (平成20年)  
防護柵についてはこれまでに設置したものを含みます

- 何もしなかった
- 捕獲 (→効果があった・なかった・不明)
- 防護柵 (→効果があった・なかった・不明)
- 耕作放棄地や林内の下草管理 (放牧も含む) (→効果があった・なかった・不明)

Q) 対策と効果  
捕獲、防護柵・・・  
→ 効果があった・なかった・不明

## 対策の事業評価(捕獲)千葉県事例

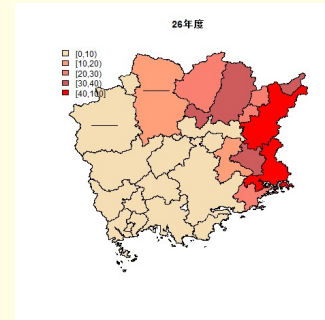


## 情報から生息数推定



生息数・被害の濃淡  
= 密度の指標となる

イノシシ・シカの  
ベイズ法推定の  
基礎データ



ベイズ法による  
26年度シカの推定生息密度